

## 小6国語 出題のねらいと対策

### 1 漢字の読み書き 85.0%

**ねらい**：漢字の読み方と書き方についての知識を問う。

**分析と対策**：「俵(たわら)」とは、米を運んだり蓄えたりするのに適した、わらを編んで作った米の入れもののこと。「額(ひたい)」とは、おでこのことです。漢字の学習を通して、語いもどんどん増やしていきましょう。

### 2 ことばの知識 95.0%

**ねらい**：文末表現と強調することばについての知識を問う。

**分析と対策**：文末表現では、文末の形によって、書き手の伝えたいことが違ってくことを理解しましょう。強調することばでは、用いられることばによって、文末が決まった形になることが多いということに注意します。どのことばが用いられると、文末がどういう言い方になるかを、ふだんのことばづかいに立ちもどって考えてみましょう。

### 3 詩の鑑賞 55.0%

**ねらい**：詩で表現されている内容を読み取る力を問う。

**分析と対策**：この詩では、「わたし」が電車の中で、自分が老年になったときのことを思いながら、想いをつのらせた「彼女」について考えているという内容です。詩は、少ないことばで深い内容を表現しているものなので、短くてもていねいに読み取って、しっかりと考えて解答していくという姿勢が大切です。「嵐のあとの朝の庭のような」

という表現について、どのような様子を描いているかを問うています。「嵐のあと」という、取り上げられていることばだけに注目するのではなく、その前後の部分(ここでは、直後の「こころ静かな、懐かしい」など)から場面をきちんととらえて、作者の表現したい内容を的確につかんで答えるようにしましょう。また、などのような、詩の形式や表現技法などの基本事項についての問いは、練習を重ねて取りこぼしのないようにしておきましょう。

### 4 物語の読み取り 69.4%

**ねらい**：登場人物の心情と人物像、文章の細部を読み取る力を確認しながら、文章の内容を問う。

**分析と対策**：本文は、勉強の目的は「幸福感」を得ることだと、「オレ」が宇野方先生から教わっているという内容です。「オレ」と宇野方先生の二人が会話をしているという場面に終始していますが、話の展開をきちんと追いかけて、宇野方先生が伝えようとしていることや、「オレ」が感じていることをきちんと読み取って解答していきましょう。

指示語の指示内容を問う記述問題です。「そうやって代筆してもらっていた」の「そうやって」の部分について、まず意味を正確にとらえたうえで、その内容を過不足なく伝えられるように、「～こと。」の形に書きかえられるようにしましょう。

全体の平均点は74.6点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。